

環境行動目標（目標と実績）

Target and Result

カシオは、「環境ビジョン 2050」を軸にグローバルな視点で環境行動目標を定め、環境活動を推進しています。2011年度の行動目標と実績、および活動実績を踏まえた2012年度の目標を紹介します。

持続可能な社会の実現に向けた環境ビジョン

カシオは、持続可能な社会の実現に向けた環境ビジョン、および環境経営方針に基づき、環境経営に取り組んでいます。カシオの環境ビジョン、および環境経営方針については、以下のページをご参照ください。

「環境ビジョン」▶ 70 ページ

2012年度 カシオ環境行動目標

製品にかかわる行動目標

1. 環境適合型製品の開発目標

2014年度までにカシオグリーンスター商品の売上比率 **50** %を達成する

工場・事業所にかかわる行動目標

1. 中長期の温室効果ガス削減目標

中期目標

事業活動に伴うグローバルな温室効果ガスの排出総量を、2005年度に対し、2020年度に **30** %削減

長期目標

事業活動に伴うグローバルな温室効果ガスの排出総量を、2005年度に対し、2050年度に **80** %削減

※事業活動：国内および海外の生産拠点とオフィス拠点の活動を指し、物流、製品使用、従業員移動などに伴うCO₂の排出は含まない。

2. 省エネルギー目標（電力・燃料など）

国内生産拠点

実質生産高二酸化炭素（CO₂）原単位を、1990年度に対し、2008年から2012年度（5年間）の平均値で **35** %削減

※実質生産高：電機電子4団体の方針に基づき、日銀国内企業物価指数（電気機器）で名目生産高を補正したもの。

国内オフィス拠点

二酸化炭素（CO₂）排出総量を、1990年度に対し、2008年から2012年度（5年間）の平均値で **9** %削減

海外生産拠点

生産高二酸化炭素（CO₂）原単位を、2004年度に対し、2012年度までに **30** %削減

海外オフィス拠点

二酸化炭素（CO₂）排出総量を、2004年度に対し、2012年度までに **3** %削減

3. CO₂以外の温室効果ガス削減目標

CO₂以外の温室効果ガス総排出量（CO₂換算）を2000年度に対し、2012年度までに **90** %削減する

・ HFC-134aの削減

※HFC-134aを使用しているダストブローワー等をより地球温暖化係数の低い化学物質を使用している製品に切替える。

4. 省資源目標（水、紙）

国内生産拠点

水使用量の実質生産高原単位を、2000年度に対し、2012年度までに **25** %削減

海外生産拠点

水使用量の生産高原単位を、2004年度に対し、2012年度までに **15** %削減

国内拠点

オフィス用紙使用量の売上高原単位を、2007年度に対し、2012年度までに **10** %削減

5. 廃棄物削減目標

国内拠点

廃棄物発生量の実質売上高原単位を、2000年度に対し、2012年度までに **50** %削減

海外生産拠点

廃棄物発生量の売上高原単位を、2004年度に対し、2012年度までに **30** %削減

6. VOC（揮発性有機化合物）削減目標

国内生産拠点

VOCの大気排出量を2000年度に対し、2015年度までに **45** %削減

※電機電子4団体にて、VOC20物質を指定。カシオは8物質を使用中。

7. 有害物質の使用廃止目標

グループ会社（山梨県・中央市）内に保管中のPCB含有機器の無害化处理を、2014年度までに実施する。

（日本環境安全事業株式会社に、無害化处理の委託登録済み（2006年6月））

・ 管轄＝カシオ計算機

※八王子技術センターで保管中の低濃度コンデンサを含む安定器については、受け入れ可能となるまで保管を行う。

8. PRTR法対象化学物質の排出量削減目標

国内生産拠点

対象化学物質の排出量実質生産高原単位を、2003年度に対し、2012年度までに **40** %削減

9. グリーン調達の実施目標

2012年度グリーン部品調達率（資材発注全部品に対するグリーン部品※1の率）国内／海外拠点 **100** %※2を維持継続する

※1：グリーン部品：カシオが指定する禁止物質が非含有の購入資材、部材。

※2：顧客要望に基づき、法規制範囲内でカシオが指定する禁止物質を使用する場合を除く。

10. グリーン購入の実施目標

2012年度 国内拠点の文具、事務用品、OA機器類のグリーン購入比率 **75** %（件数ベース）

※CATS e-Pシステム導入拠点を対象

11. 物流の温暖化対策目標

国内物流におけるCO₂発生量※を売上高原単位で2012年度までに2005年度比 **22** %削減

※対象範囲は製品の販売にかかわる工程とし、資材材料調達、リサイクルに関わる工程は含まない。

事業活動全般にかかわる行動目標

1. 生物多様性の保全目標

カシオグループ生物多様性ガイドラインに基づき、事業所系と製品系における生物多様性の保全活動を行う

事業所系

2012年度までに、工場・事業所の立地／操業に関して、生物多様性影響度評価のチェックシートをNPO/NGOと協力して作成し、パイロット調査を開始する。

製品系

2012年度までに、製品の設計／調達／生産／梱包／物流／リサイクルの各領域に関して、生物多様性影響度評価のチェックシートを NPO/NGOと協力して作成し、パイロット調査を開始する。